

神奈川県環境基本計画の進捗状況点検に対する意見と対応(会議前後提出意見を含む)

<令和6年11月12日開催 令和6年度第1回環境基本計画部会>

意見番号	委員	該当箇所	意見等	対応	反映ページ
1	松崎部会員	報告書全体	具体的な記述がほしい箇所が何か所かある。今後についても、指導します、支援しますというような表記が続くが、さらに具体的にどのようなことを指導・支援するのかが見えると、次年度に大きくつながるため、表記の仕方を検討してほしい。	改定計画の進捗状況点検において参考とします。	—
2	青柳部会長	報告書全体	個別計画の内容を基本計画へいかに反映し書くか、工夫が必要と思われる。次の計画にどうつながっているかが知りたい内容と思うので、旧計画の反省のどこが新計画に活かされているのか、つながりが分かると全体の評価が充実すると考える。	御意見を踏まえ、報告書に新たに項目を追加し記載しました。	36、37
3	白井部会員	総括	5ページの参考1の表は全体を把握するのに有用と思うが、最新値を値で載せるのであれば、目標値を対で載せてほしい。それが難しくてもせめて数値の単位は示して頂きたい。各項目について、値の推移や、目標値や基準値を確認したくなるため、参照すべきページを示してあると良い。	報告書を修正しました。	5
4	鎌形部会員	総括	昨今の全国的な猛暑、災害の頻発といった事態に鑑み、気候変動対策も適応策に更に重点を置いて取り組んでいくことが求められる。	「環境審議会による評価(総括)」に反映しました。	3
5	石原部会員ほか複数	総括	13の重点施策のうち、7つは目標を達成したものの6つは目標を達成できていないため、計画全体について「概ね順調」とは評価できないのではないか。どこまで達成されていると「概ね」なのか、基準がなく、表現も曖昧である。	重点施策や環境指標から、各分野については一定の評価を出来ることから、分野ごとの評価について記載することとします。 これを受け、「環境審議会による評価(総括)」20目を下記のとおり修正しました。 (修正前) 「環境審議会としては、それらの県の自己評価を概ね妥当とし、計画全体としては、概ね順調に進んでいると評価します。」 (修正後) 「環境審議会としては、それらの県の自己評価を概ね妥当と評価します。」	3
6	松崎部会員	中柱(地球温暖化)	地球温暖化対策は、事業者や県民の自主的な取組が進み、(温室効果ガスの排出量は)少しずつ改善され、減少傾向にある。 更に地球温暖化対策が進むよう、取組への支援を強化してほしい。	「環境審議会による検証」に反映しました。	17
7	鎌形部会員	中柱(地球温暖化)	全体の進捗状況が十分でなく、県内の温室効果ガス総排出量の削減目標(2030年に50%削減)の目標達成には更なる取組の加速化が必要としているが、今後は個別の部門ごとに目標の達成度を示し、どの部門でどの程度の努力が求められるか、どこに課題があるかを明確にして、かつどの分野を重点的に取り組んでいくべきか、県民にわかりやすく数字で示していくことが望まれる。	「環境審議会による評価(総括)」、「環境審議会による検証」に反映しました。	3、17

意見番号	委員	該当箇所	意見等	対応	反映ページ
8	佐土原部会員	中柱 (地球温暖化)	分野評価について、安心して取り組んでいかなければならないことを踏まえると、「やや遅れている」が全体の状況かと思う。 また、2021・2022年度の実績は、ちょうどコロナの影響がある程度ある状況なので、これを今後、どのようなトレンドでとらえるかということが重要になると考える。特に、今後、データセンターなどの電力需要が増えるということも言われており、目標値の見直しも含めたこれからの取組が重要になると考える。	「環境審議会による検証」に反映しました。	17
9	鎌形部会員	中柱 (地球温暖化)	重点施策「事業者による自主的な取組等の促進」については目標を達成しているが、今後制度の拡充が予定される計画書制度や事業者支援を適切に運用して排出量削減を着実に進めていくことが求められる。	「環境審議会による評価（総括）」、「環境審議会による検証」に反映しました。	3、17
10	佐藤部会員	中柱 (地球温暖化)	自主的な取組を期待するだけでなく、どのように制度の効果が出ているかが今後の予算にも関連してくると思われるため、施策の効果がどの程度あったかももう少し分かるとよい。	事業者の自主的な取組を促進することが事業活動温暖化対策計画書制度の目的であるため、報告書に記載のとおり、事業者の省エネ対策や再エネ電力の導入などの自主的な取組が着実に進んでいることが制度の効果となります。 なお、誤解を招く書き振りとなっていましたので、報告書を修正しました。 (修正前) 「事業者の省エネ対策や再エネ電力の導入などの自主的な取組は着実に進んだものと推察されます。」 (修正後) 「事業者の省エネ対策や再エネ電力の導入などの取組は着実に進んでいます。」	15
11	鎌形部会員	中柱 (地球温暖化)	重点施策「再生可能エネルギー等の導入加速化」の数値目標については、2020年度以降の実績が横ばい傾向で目標達成に向かっていないことを受け止めて、対策を強化することが求められる。	「環境審議会による評価（総括）」、「環境審議会による検証」に反映しました。	3、17
12	佐藤部会員	中柱 (地球温暖化)	FIT制度の固定価格による買取期間である20年が終わった時に、一斉に太陽光の発電所がなくなるなどの大きな変化があると思われる。太陽光発電の老朽化に伴い、どのような影響が出るか懸念する。	「環境審議会による検証」に反映しました。	17
13	松崎部会員	中柱 (地球温暖化)	近年の大規模な自然災害や暑熱に対する対策は、人の命に関わることであり、急務だと思う。より一層のフォローが必要だと考える。 河川の流域治水の推進のみならず、土砂災害に対する対策も必要である。	「環境審議会による検証」に反映しました。	17
14	鎌形部会員	中柱 (地球温暖化)	適応策については、最近の全国的な猛暑や豪雨災害で県民の関心も高まっていると思われる。県としての施策（例えば熱中症対策や防災対策）の現状を評価し、充実していくことが望まれる。 他の分野に関わることもあるかと思うが、県の取組の現状をしっかりと評価し、次の取組を示していった方がよい。	「環境審議会による検証」に反映しました。	17

意見番号	委員	該当箇所	意見等	対応	反映ページ
15	佐土原部会員	中柱 (地球温暖化)	適応策について、非常に風水害等が増えてきている。分散型エネルギーの促進により再生可能エネルギーを導入することは、防災にも寄与・貢献していく。また、自然環境・生態系の保全を進めていくことが、適応策・防災としても非常に重要となってくる。 他の施策との連携を踏まえて、総合的に取り組んでいくことが、環境基本計画の中でも重要になってくると感じている。	「環境審議会による評価（総括）」、「環境審議会による検証」に反映しました。	3、17
16	鎌形部会員	中柱 (地球温暖化)	計画期間を超えた長期のことになるが、2050年カーボン・ニュートラルという国の目標に即して県としてどのような取組をしていくのか、県民にどのような取組みが求められるのかなどについて、具体的な検討に着手することが望まれる。	「環境審議会による検証」に反映しました。	17
17	松崎部会員	中柱 (資源循環)	一般廃棄物の3Rの推進は、県民レベルではかなり意識も高くなり、進んでいると思われるので、これがより様々なところで広がっていくと良い。事業者については、まだ工夫の余地があると思われるため、県からも少し応援が必要と思う。	「環境審議会による評価（総括）」、「環境審議会による検証」に反映しました。	21
18	鎌形部会員	中柱 (資源循環)	一般廃棄物対策に関する県民への普及啓発、産業廃棄物対策に関する事業者への普及啓発についてはその効果が明らかでないので、排出抑制や再生利用率向上にどのように役立っているのか等を分析し、今後普及啓発の対象を重点化するなどより効果的な実施に努めることが望まれる。	「環境審議会による検証」に反映しました。	21
19	松崎部会員	中柱 (資源循環)	一般廃棄物の3Rの推進は、環境対策に大きな効果があるだけでなく、経済効果も大きいことを明示することで、それぞれが取り組むモチベーションを上げることが期待できる。	「環境審議会による検証」に反映しました。	21
20	鎌形部会員	中柱 (資源循環)	全国における昨今の災害の頻発を踏まえ、災害廃棄物対策について適切な準備がされているかどうか点検し、不十分な点があれば早期に対応しておくことが望まれる。	「環境審議会による評価（総括）」、「環境審議会による検証」に反映しました。	21
21	松崎部会員	中柱 (自然環境)	【計画期間を通じた分析】の5行目に、「県民の実感として、自然環境や生物多様性の保全が進んだとは受け止められていない現状がある」とあるが、「多様な主体が自分事として取組を行うための支援」とは、具体的にどのようなことを示しているのか。 まずは現状をしっかりと周知することが大切である。その上で、それぞれの主体が取り組める事例を具体的に示し、それに取り組むことでどのような変化があるのか、分かりやすく示すことが大切だと思う。	生物多様性への配慮や保全の取組事例などに関する情報を収集し、提供することにより、各主体の相互協力、交流等を支援していきます。 また、各主体に生物多様性に関する講座、研修会などの開催を働きかけるとともに、アドバイザー派遣制度等を通じて、専門的、技術的なアドバイスをを行い、ニーズに合わせたオーダーメイド型の取組支援を行っていきます。 御意見を踏まえて、報告書へ追記するとともに、「環境審議会による評価（総括）」、「環境審議会による検証」に反映しました。  報告書23ページへ次の表現を追加 「具体的な取組事例の情報提供や、アドバイザー派遣制度等を通じて、専門的、技術的なアドバイスをを行い、ニーズに合わせたオーダーメイド型の取組支援を行うなど」	23、26
22	鎌形部会員	中柱 (自然環境)	それぞれの地域における生物多様性の保全のためには、県民や事業者の自主的な取組が重要なので、OECMの取組を更に進めていくことが望まれる。	「環境審議会による評価（総括）」、「環境審議会による検証」に反映しました。	26

意見番号	委員	該当箇所	意見等	対応	反映ページ
23	松崎部会員	中柱 (生活環境)	相模湖や津久井湖では、全窒素と全磷は環境基準を一度も達成していない。生活排水対策やアオコや赤潮の原因となる富栄養化状態への対策を具体的に提案し、推進できるよう努めてほしい。	「環境審議会による評価（総括）」、「環境審議会による検証」に反映しました。	31
24	鎌形部会員	中柱 (生活環境)	PFOS等の暫定目標値を超過する河川や地下水が複数確認されていることに対して県民の関心が高まっていることを踏まえ、不安を払しょくするための具体的な施策を検討・実施していくことが望まれる。	「環境審議会による評価（総括）」、「環境審議会による検証」に反映しました。	31
25	松崎部会員	中柱 (人材・連携・技術)	若年層に向けた環境学習・教育は、将来の環境対策を实践する人づくりとしてとても重要である。更に力を入れて取り組んでほしい。	「環境審議会による検証」に反映しました。	35
26	倉田部会員	中柱 (人材・連携・技術)	施策の分野3において講師の学校派遣を行った分野の内訳を載せるとよい。内容の偏り（需要、供給）が明らかにできると今後の対応につながる。	報告書へ内訳を追記しました。	32
27	松崎部会員	中柱 (人材・連携・技術)	2023年度末をもって県による「マイエコ10宣言」を廃止し、2024年度からはオールジャパンの取組である「デコ活」に移行しているが、県民の誰もが気軽に取り組めるよう、お知らせや呼びかけを強化し、主体的に環境のことを考え行動できる人づくりを進めてほしい。	「環境審議会による評価（総括）」、「環境審議会による検証」に反映しました。	35